

途上人 KITANO 2016 冬例会 : 晴天、感動の金剛山登山

26期 猪之良 登、桑名 耕治 (2016年2月5日(金))



2月5日、久しぶりの金剛山登山。くっきりと青空。今回は桑名リーダー初め、山田先生と梅谷、小池、兼田各氏と友人の丸野氏、そして猪之良の男7名だけ。お色気なく残念だが、ともかくロープウェイ登山口までバスで向かった。

登山道へ入ったが、ほんの雪の跡だけだ。寺谷地点から木製の階段を登りはじめたが、地道で登り易いものの、傾斜がきつく「は～ふ～」と荒い息になる。地面が凍った箇所もあり、3回ほど転倒した。「オレは何でしんどい目して登るのか」と自問しつつも、梅ちゃんのほら貝に元気づけられ、山頂をめざす。山道に出て、神社の鳥居が見えた所でぐっと気分が和らいだ。きついコースのお蔭で、11時過ぎには山頂にたどり着いた。まず展望台へ。小中学生の「実習登山」なのか、わいわい沢山の男女が。「よっ、こんにちは」と声が弾む。山頂記念碑をバックに記念撮影後、さあ昼食だ。おにぎりと持参のカップラーメンで体が暖まる。漬物やおかずをつつき合いながら、熱かんがおいしいぞ。1升余りの酒が瞬く間になくなった。

帰り道、人なつっこい四十雀(から)の群れに出会う。下り坂も相当きつかったが、何とかバス停まで着いた。恒例の王将では生ビールで乾杯。ぎょうぎやエビちりなどをほおぼりながら「北野在校時は貧しいながらも薬業や電機、鉄鋼、医療などに夢をもって励んだ。」「北野には養成工の人が多かったが、養成工を出た人達が欧米から導入した難しい技術を現場のリーダーとして咀嚼し日本の高度経済成長を支えた」など感銘深い内容の「反省会」になり、元気をもらって帰路に着きました。(猪之良 登 記)